

Chartered April 11, 1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

Address : Yoshio Iida 1-2-2 Moriminami-cho Higashinada-ku, Kobe 658-0011, JAPAN
 Mail : hfyoshio1945@hotmail.co.jp Phone : 078-452-3973
 URL : http://www.kobeymca.or.jp/ys/ashiya/



主 題
 国際協会会長 Kevin Cummings 「一つとなる力」
 「The Power of One」
 アジア地域会長 Chon Byung-Koo 「夢見るアジア、愛するアジア」
 「Dreaming Asia, Loving Asia」
 西日本区理事 鈴木 誠也 「すべてのいのちを大切に！」
 「Love & Care for All the Living Things」
 —いのち・平和・環境—
 —Life, Peace, Environment—
 六甲部部长 大田 厚三郎 「希望の灯(ともしび)となろう」
 「Be the Light of Hope」
 芦屋クラブ会長 飯田 義雄 「愚直に歩もう」
 「Let's Advance Day by Day」

会 長 飯田義雄
 直前会長 柏原佳子
 副 会 長 井上雅司 島田 恒
 書 記 堀江哲次 都筑省三
 会 計 羽太英樹 堤 清
 監 事 都筑省三 田舎庸男
 連絡主事 橋本 潤
 六甲部EMC事業主査 福原吉孝

4

Apr. 2010
 第155号

4月はYMCAサービス強調月間

桑野友子

毎年2月水野総主事主催の六甲部8クラブの現・次期会長との懇談会がもたれ、要望や意見の交換等、相互に理解・協力を深める為のとてもよい機会になっています。地域にYMCAを持たない芦屋クラブがどのように神戸YMCAと関わり、協働しているのか、月を追って整理してみましょう。

- ◇YYフォーラムには毎年6名～8名が参加 (1月)
 - ◇芦屋独自の企画としてYMCA留学生20人程をポトラックパーティーにご招待 (2月)
 - ◇タイワークキャンプへの協力金の拠出 (2月)
 - ◇留学生スピーチコンテストに協力金を拠出、参加 (3月)
 - ◇さくら祭りにリーダーがお手伝い参加 (4月)
 - ◇タイワークキャンパーの報告会を例会で行う (5月)
 - ◇チャリティーランに毎年ランナーとして2～3チーム参加、クラブとしての協力金の他に10名前後の個人協力金。
 また、チヂミの店を出し、売上金を献金 (11月)
 - ◇クリスマス祝会のニコニコ献金若しくはオークション売上金を神戸YMCAに献金 (12月)
- その他、チャリティーワインの会、チャリティーゴルフ、午餐会等に参加。また、国内外の災害に対して芦屋クラブ独自の募金活動を行い、その義捐金をYMCAを通じて現地に送金。等々尚、芦屋クラブメンバー18名の内YMCA維持会員は16名(88.9%)、ワイズメンズクラブの理念や目的をクラブ員全員が理解し、100%になる様よく話し合いたいと思います。

今月の聖句

すると、二人の目が開け、イエスだと分かったが、その姿は見えなくなった。二人は「道で話しておられるとき、また聖書を説明して下さったとき、わたしたちの心は燃えたではないか」と語り合った。 ルカ福音書 24:31-32

4月第1例会プログラム

- と き: 2010年4月21日(水) 19:00～21:00
 と ころ: ホテル竹園芦屋 3階
 司 会: 島田 恒 (敬称略)
 受 付: 田舎庸男・井上雅司
1. 開会点鐘 飯田義雄会長
 2. クラブソング斉唱 一同
 3. 聖書朗読 羽太英樹
 4. ゲスト・ビジター紹介 飯田義雄会長
 5. 食前感謝 加輪上敏彦
 6. 食事・歓談 一同
 7. メンバー'sスピーチ 福原吉孝
 「ジェネリック医薬品」
 8. ニコニコ(いい事一言) ドライバー
 9. YMCAニュース 橋本潤連絡主事
 10. 誕生祝い 飯田義雄会長
 島田 恒・福原吉孝・吉岡浩一・田舎利子
 12. 議事・報告
 - 1) 第2例会議事録承認 飯田義雄会長
 - 2) 各事業委員報告
 13. ニコニコ献金報告 福原吉孝 (ファンド)
 14. 閉会点鐘 飯田義雄会長

3月例会出席表 (敬称略)

第1例会出席者	例会出席率	BF切手 (累計)
メンバー 14名	出席者 14名	60g (912gm)
ビジター 4名	メイキャップ 2名	吉岡・町永(感謝です)
ゲスト 1名	合 計 16名	ニコニコ (累計)
メネット 名	在籍者 18名	12,010円 (138,020円)
合 計 19名	出席率 88.9%	

3月第1例会報告

日時：2010年3月17日(水)

場所：ホテル竹園芦屋 3階

司会：桑野友子 (敬称略)

出席者：飯田、上野、柏原、加輪上、桑野、島田、都筑、堤、橋本、羽太、福原、堀江、吉岡、渡辺

ビジター：大島孝三郎(中部部長・名古屋プラザクラブ)
長谷川和宏(広報事業主任・名古屋東海クラブ)
鈴木誠也(西日本区理事・神戸ポートクラブ)

ゲスト：米良重徳(ゲストスピーカー)

3月は遠来のゲスト・ビジターを迎えての第1例会となりました。7時定刻、ロビーでお待ちいただいたゲスト・ビジターを拍手で迎え、飯田会長の開会点鐘で例会が始まりました。全員でワイズソング斉唱、羽太メンの聖書朗読、ゲスト・ビジター紹介、そして柏原ウイメンの食前感謝、いよいよ食事です。サラダ・スープに続いてメインディッシュはホテル竹園自慢のビーフ、歓談をしながらのお食事は心も身体も豊かにしてくれます。



さて、今日のゲストスピーカーは岡山からお招きした米良重徳氏。大学卒業後、神戸YMCAに入職、香港・シンガポールと一貫してYMCAの仕事が続けられた氏のスピーチのテーマは「しあわせ

ライフ」です。優秀な高校時代の同窓生の大半は一流の大学・一流の企業で競争の人生を送られたとか。どんな人生を送るのが幸せなのかは人それぞれ価値観が違うので一概には言えないが、50分間のスピーチを聞いてYMCAと共に過ごした氏は本当に豊かな人生を送られていると感じました。

続いてビジター紹介。鈴木西日本区理事は時々お顔を見せて下さいますが、今日は遠く名古屋から大島中部部長(名古屋プラザクラブ)と長谷川広報事業主任(名古屋東海クラブ)のお二方が参



加して下さいました。本来ならば事業主任または部長としてゆっくりとお話をさせていただくべきところ、プログラムの決まった後でのご参加表明だったため、十分な時間が取れず、準備されたお話ではなく、ご自分の生き立ちなどを短い時間で面白く話され、流石と感心しました。

時間が押していたので、YMCAニュース、誕生祝い、議事・報告、ニコニコ献金報告と駆け足で進み、なんとか9時定刻に閉会点鐘となりました。

その後、9階のラウンジにて2次会となりましたが、私は歯痛のため欠席、皆様素敵な芦屋の夜を満喫されたことでしょう。

尚、大島部長と長谷川主任は上野メンのお宅に泊まれ翌日、上野メン・柏原ウイメンの案内で神戸のハーブ園や中華街を楽しまれたとのことでした。桑野友子

2009年～2010年六甲部第2回評議会

3月20日(土)神戸YMCAで開催された。芦屋クラブより飯田会長・上野・柏原・桑野・福原・堀江の6名が出席した。第1部の評議会では下記3つの報告が印象に残った。

①大田六甲部長が部全体報告で今後の思いとして、若い会員のためクラブ会費の減額、ファンドの充実(芦屋：馬路村ゆずファンド)、継続事務の底上げを言われた。②福原 EMC 事業主査が活動中間報告でクラブでのEMC研修会と女性会員がクラブで重要なこと(芦屋・宝塚)を述べられた。③飯田会長がクラブ活動報告で平和、命を中心にハチドリのひとつの思いで愚直に活動と報告された。安行次期六甲部長より次年度役員等(飯田地域奉仕主査、桑野芦屋クラブ会長)の紹介と承認があった。

第2部のEMC研修会では福原EMC事業主査の司会により、クラブ会長8名が出席者の前で代表して意見交換をした。

EMCはクラブ活動とつながると各会長より、活動の柱を持つ(神戸)、他者への貢献の満足感(芦屋)、人をひきつけるテーマ(神戸西)、国



際ボランティア(ポート)、YMCAリーダー・OG/OBとの交流(学園都市)、例会開催場所の大切さ(宝塚)、リーダー感謝会・広報は時間をかけて(さんだ)との意見があった。西宮は会員の1/2以上がYMCA・OBとのことで、YMCAにかかわっていた人へもつとEMCをという理解が得られたように思った。

次に「EMCに求められていること」との熱のこもった廣井EMC事業主任の講演のあと、第3部の懇親会となった。

堀江哲次



広島西日本区大会と横浜国際大会のアピールをする鈴木理事と理事キャビネット

折り鶴完成

皆様のご協力で折り鶴が1000羽まで出来上がりました。メネットの皆様には横浜国際大会のお手玉、平和ペンギンに続きご協力いただき心から感謝いたしております。

私は年のせいか眼も手先も衰え思うように進まず時間がかかりましたがいい思い出が出来ました。

「折り鶴みこしの」上を飾ることにより、又折り鶴ランナー大野勉ワイズの快走に平和を願わずにはおられません。

国際大会と西日本区大会の成功を心からお祈りいたします。

飯田ふみ子



さくら祭り

さくら祭り芦屋ワイズの出店は繁盛

「庭園都市芦屋」の春の芦屋川沿いの桜は近隣では名も知れた名所である。今年のさくらは平年よりかなり早い開花となり、当日の花の状態が心配されたが、数日にわたり少々寒い日が続いたおかげで4月3日～4日の週末に合わせたように満開！！その上、二日間とも花見日和になり、川沿いの歩行者天国は人、人、人・・・河川敷の舞台からは軽快な音楽が流れて気分も満点とあって我出店によるファン稼ぎにとって追風となった。芦屋ワイズのお店は例年通りの「チヂミ」と「綿菓子」である。特に「チヂミ」は数年前からのノウハウと腕前(?)で、材料調達、器具類の手配もプロ並みで店の前には行列が絶えず、最終日には閉店時間前に早々と完売となった。「綿菓子」では同業(?)ライバルが何軒かあったが、こちらも半プロ腕前さんの奮闘で、用意したザラメ砂糖も無くなる有様であった。また絶えない可愛いお客さんのためフル運転を続けた綿菓子発生器が一時故障するというハプニングもあったが、機械修理の名人も揃っている芦屋ワイズである。今回も準備から販売そして後片付けまで多くのメンバーの連携プレーでスムーズにとり進められ、みんな花見はそっこのけで動き回った。ちょっと疲労を感じながらも楽しい思いを分かち合えたのは感謝でした。尚、チヂミの人参は熊本みなみワイズのご協力で阿蘇産の美味しい人参を仕入れることが出来、また器材では鉄板を神戸教会から、綿菓子器をみどり作業所からお借りできたことを合わせ感謝したい。

羽太英樹

芦屋さくら祭り奮戦記・・・

芦屋クラブにとって大きな行事であるさくら祭りの成果を報告したい。

4月3日(土)、4日(日)の二日間は、いい晴天に恵まれ、芦屋川の美しい桜と大勢の花見客に囲まれ、なんとも楽しい日であった。今年、あまり良くない場所で心配されたが、昨年を凌駕する売上であった。例年のとおり、「ニラと人参のチヂミ」、「綿菓子」を販売したのである。参加した芦屋クラブメンバーは、エプロンを掛け、手慣れた様子でチヂミを焼き、綿菓子を販売したが、毎年恒例となっており、芦屋さくら祭りの名物となっているのではないか思われた。「美味しいよ・・・ニラと人参の健康チヂミ・・・」の掛け声とゴマ油の美味しい香りに誘われ次から次とお客様が押し寄せ途切れることない行列ができた。焼きあがったチヂミは、多少大きさに差があるのは素人の愛嬌でお許しを願うとして、お客様には、わざわざ探して買いに来た方が大勢おられ、200円で安いし、しかもとても美味しいので毎年楽しみにしているというリピーターがありチヂミ、綿菓子販売での立ち仕事の疲れも吹っ飛ばし気持ちであった。



満開の芦屋川のさくら



途切れることなく並ぶお客様

芦屋クラブの参加メンバーは、

プロのチヂミ屋さんではないかと思われる程の腕前を見せ、素晴らしいコテ裁きでチヂミを焼きお客様には丁寧な笑顔で対応していた方がほとんどであった。チヂミは、美味しさとゴマの香りが大好評で、終了時間を待たずに完売となった。

一方、綿菓子にもお母さんと一緒にかわいい子供達が並び、子供達のとてもかわいい嬉しそうな笑顔によって忙しい綿菓子売りが楽しめた。途中、綿菓子の機械が動かなくなり綿菓子販売を断念かと思われたが、なんとこの機械を見事に修理した素晴らしい器用な方がおられた。その方は堤メン、ハンダ付けして見事に修繕されたのにはビックリであった。素晴らしい技術でリカバリー出来、無事に綿菓子が販売できたので報告しておきたい。日曜日にはYMCAから来てくれた若い2名の女性リーダーの熱心な掛け声、お手伝いが大きな成果に繋がったことを感謝しておきたい。それぞれ役割をこなしていたが、チヂミ焼きでは、エプロンをチヂミ粉で真っ白にし、綿菓子販売では頭まで綿菓子で覆われ、長時間、熱心に集中していた。さらに、このチヂミと綿菓子の大成功の裏には、材料の人参が熊本みなみクラブから友情の送付、ニラは買い出しで調達、材料を柏原邸で裁断、鉄板、プロパンの借り受け、ゴマ油、チヂミ粉、コテ等の備品準備、会場へ搬入と終了後のお掃除等・・・それぞれの役割を粛々と行った芦屋クラブの面々の協力に感謝しておきたいと思う。

福原吉孝

さくら祭りメモ

売上(3・4日合計) 352,350円 (敬称略)

利益(ファン会計へ) 191,231円

準備参加者: 飯田会長、上野、柏原、桑野、堤、羽太、堀江、渡辺(ブルーミンダー) 各メン
飯田メネット、島田メネット

当日参加者: 飯田会長、田舎、井上、上野、柏原、堤、桑野、都筑、羽太、福原、堀江 各メン
飯田メネット、島田メネット

YMCAリーダー: 五嶋侑子さん、松井由希さん
(2人ともタイワークキャンプ参加者です)

◇大澤メンはみどり作業所出店、身体を壊されてる島田加輪上両メンも夕方顔をみせ、ほぼ全員が参加。

◇芦屋西教会、芦屋改革派教会には駐車をお願いした上、両教会の牧師ご夫妻も来られて、差入れをいただいたり、お買い上げいただいたりしました。

◇ワイズメンも鈴木理事初め多くの方が来て下さいました。

◇大野メンは当日、チヂミで力をつけて、京都三条から草津までのランに臨まれました。

◇昨年に続いてDBC熊本みなみクラブより新鮮なニンジンを送って頂きました。

お疲れさまでした！！

3月第2例会議事録(抄)

日 時: 2010年3月24日(水)19:00~21:00

場 所: 市民センター 211会議室

出席者: 井上、柏原、桑野、羽太、福原、吉岡、堀江、
橋本連絡主事(8名) (一部敬称略)

報告・協議・確認事項

- ◇ 芦屋さくら祭り: 4月3日・4日芦屋川堤防
参加者、参加時間帯のリストを作成
ニンジン(DBC熊本みなみクラブ)より送られる。
4月2日柏原ウイメン宅にて飯田メネット・島田メネット(午前中)、上野メン・羽太メン・堀江メン(午後)ニンジン切りを行う。別途、桑野ウイメン・渡辺ウイメンもニンジンのカットを行う。
さくら祭り応援: タイワークキャンプ参加者などに橋本連絡主事から依頼=五嶋侑子さん、松井ゆきさんが参加
- ◇ 横浜国際大会: 8月5日—8日
現在の参加者: 飯田、上野、柏原、桑野、吉岡(5名)
4月第1例会で飯田会長が国際大会の案内、日程、登録費などの内容を説明
- ◇ 西日本区大会: 6月12日(13日)
現在の参加者: 飯田、井上、上野、柏原、桑野、福原、羽太(ご夫妻)、吉岡、堀江メン(10名)。
クラブよりの参加者補助は¥5,000とする。
- ◇ 2月度会計報告: 羽太メンより資料に基づき行われ承認
- ◇ 「チリ災害支援募金」はクラブ会計から¥10,000-を寄付する
=送金済み(3/29)
- ◇ その他:
 - クラブ会則(YMCA維持会員関連)が守られているか現状につき問題提起があった
 - またクラブ年会費(羽太会計より現状報告)、クラブ副会長の選任(未決定)の状況確認があった。

書記 堀江哲次

理事通信 (抜粋)

09-10西日本区理事 鈴木誠也(前略)例年より1か月早い国内送金へのご協力ありがとうございました。おかげ様で、2月末の期限内に目標を超える金額を国際協会へ送金することが出来ました。皆様のご協力に感謝いたします。加えて、地域奉仕事業委員会の賛同を得て、緊急災害支援として、CS基金からハイチとチリに合計100万円の募金を送り、さらに各部、各クラブからはYMCAを通じての貢献の報告も受けております。(中略)
今期も残すところ3か月となりました。6月の西日本区大会が我々の集大成となります。理事テーマ「すべてのいのちを大切に-いのち・平和・環境-」が、核兵器廃絶から世界の平和を作り出す一助になれば素晴らしいことです。その成果は部長報告、事業主任報告と表彰を待って期待したいところです。
また、これからの3か月間は、会員増強の最後のチャンスです。メンバー2000名に向けてのEMC活動は一進一退が続いています。会員増強には増やす以上に、減らさない努力が大切です。京都トゥーピークラブが、新クラブの設立総会を5月27日に予定されています。続くエクステンションを期待いたします。

◇ UGP(国際統一事業)について

「HIV/AIDSの拡大を防ごう」は最終年を迎えました。次期からのUGPは「ロールバックマリア」になりました。続けてのご協力をお願い致します。

◇ 西日本区大会準備中

広島クラブを中心に西中国部が準備中。最低700人の参加を期待して、1日でごなせるプログラムを作成。日程や費用の工夫をして、みなさまの登録をお待ちしています。

◇ 横浜国際大会

海外での大会には参加しにくいけれど、国内で国際大会の雰囲気味わえる減多にないチャンス、多くの登録を期待しています。登録状況を理事事務局から随時送りますので、理事登録目標600人を達成すべく、部としての対応を検討、努力して頂きたいと思います。その為の盛り上げ行事として部単位で「チャリティーゴルフコンペ」や「ボーリング大会」等を企画し、ファンド作りにも貢献して頂きたいと思います。

YMCAニュース

橋本連絡主事

◇ 2010年度の年間聖句

「主を待ち望め 雄々しくあれ、心を強くせよ。」
(詩編 27 編 14 節)

◇ 第27回タイ・ワークキャンプ開催!

3月12日(金)~25日(木)、タイ・ワークキャンプに各リーダー会からのリーダーを中心に9名が参加、無事帰国しました。数年前からタイと神戸のユースだけではなく、アメリカ・シアトルYMCAおよびラオスからのユースを加え、多国籍のユースによるワークとなっています。今年はタイでも問題となっている発達障がい児のための学習室建設が目的でした。このワークキャンプについては、ワイズメンズクラブ六甲部の各クラブから、また国際協力募金から多大な支援がなされていて、改めて感謝申し上げます。このワークキャンプの報告が、5月8日(土)の創立記念日礼拝の後に参加リーダーによってなされますので、是非、ご参加ください。

今後の予定

◇ 平和を創り出すコンサート

日 時: 4月18日(日)午後6:00~8:00
場 所: うはらホール(神戸市立東灘区民ホール)
出 演: 高石ともやさん・須磨ウエストバンド
入場料: 大人 2,000 円、小学生以下 1,000 円

◇ 創立記念日礼拝

日 時: 5月8日(土)午後5:00~6:30
場 所: 神戸YMCAチャペル
メッセージ: 坂口順治さん(東京YMCA名誉会員、元立教大学教授、元平安女学院大学学長)

奨励題: YMCAの歴史を支えてきたもの

~YMCA運動史編集から見えたもの~

ユースプラザKOBE・EASTのプログラムにつきましては

橋本潤連絡主事にお問い合わせください。

編集後記: ◇さくら前線北上中、今年は各地ともお花見が長く楽しめたようです。◇理事キャビネットも西日本区大会に向け最後の追込みに入っています。我がクラブからも大挙して広島の地を訪れましょう。
桑野友子